広報 たいじ

2024年
令和6年
1月号
No.473

The Newsletter of the Town of Taiji

日の出

目　次

新年挨拶……………………………… 2
特集………………………………… 4
トピックス ……………………… 5
お知らせ ……………………… 6
住民福祉課便り ………………… 8
社会福祉協議会便り …………12
学芸員便り・くじらの博物館便り …16
保健衛生関係行事予定 ………18

新年あけまして　おめでとうございます

太地町長　三　軒　一　高

新年あけましておめでとうございます。皆さま方におかれましては、希望に満ち、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。また、平素は町政の各般にわたりまして、深いご理解とご協力を賜っておりますことに厚くお礼を申し上げます。

昨年５月に新型コロナウイルス感染症が５類に移行され、1200日にも及ぶコロナとの長い闘いも転換点を迎えました。この間、住民・事業者の皆さま、医療従事者を始めとする関係者の皆さまなど､多くの方々に多大なるご協力をいただきました。心より感謝を申し上げます。

さて、本町においては、昨年度に実施しました高齢者ニーズ調査の結果に基づき、昨年４月に買い物支援サービス（買い物ツアー）､９月には町外病院への通院サービスを開始するなど、多くの方にご利用いただきました。町営じゅんかんバスにつきましても、完全無償化となり、町民の皆さまをはじめ、観光客の皆さまにも大変喜ばれております。さらに子育てを支援するため、小学校・中学校・高校入学時に５万円の支給、高校生等の通学定期券購入費用の全額補助などの新たな取組も開始しました。

また、本年４月には、国際鯨類施設が供用を開始する予定となっております。昨年10月末に施設が完成して以来、研究者の方々が本町に移住し、研究機器等の搬入はじめ、研究開始に向けた準備を進めているところです。くじらの学術研究都市を目指す本町にとって、当該施設を軸に国内外の新たな人の流れの創出や交流人口増大など、町全体への活性化につなげていきたいと考えております。

引き続き全力でまちづくりに取り組んでまいりますので、本年も変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びになりましたが、皆さまのご健勝とご多幸を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

新年あけまして　おめでとうございます

太地町議会議長　福　田　忠　由

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、令和６年の新春を健やかにお迎えになられたことと、お慶び申し上げます。年頭にあたり議会を代表して謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、日ごろより町議会に対し、多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年８月の臨時議会において、議長に推挙していただきました。もとより微力ではございますが、地方自治の伸展、まちと町民の皆さまのために最善の努力をいたす所存でございますので、今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう重ねてお願い申し上げます。

さて、令和５年度においては、高齢者支援の施策として日用品等の買い物支援サービスが始まり、さらに、出産から高校生に至るまでのあらゆる子育て期を支援するため、既にスタートしている給食費の無償化や町独自の施策である出産祝金 30 万円の支給拡大に加えて、小中学校および高校入学時に５万円を支給する入学祝金や高校生等の通学定期券購入費用を全額補助する制度などが新たに開始されました。このような子育てをする方からお年寄りの方を含め、１歩ずつではございますが、全世代に向けた様々な支援の拡充が進んでいることは、誠に喜ばしいことと思っております。

また、昨年から引き続き着工している国際鯨類施設の工事では、建屋が完成し町が目指す、くじらの学術研究都市となるための各種環境整備が進められています。

まだまだ様々な課題がございますが、今後も行政と議論を重ね、そして行政とともに誰もが安心して暮らせるまちづくりを進めていくことが、議会に課せられた責務であると考えておりますので、引き続き町民の代表として職務に邁進して参ります。

最後に、新しい年が町民の皆さまにとりまして、よき一年になりますことを祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

広報たいじで振り返る2023年

中学生議会

４基目のご当地ポスト設置

白馬村への訪問

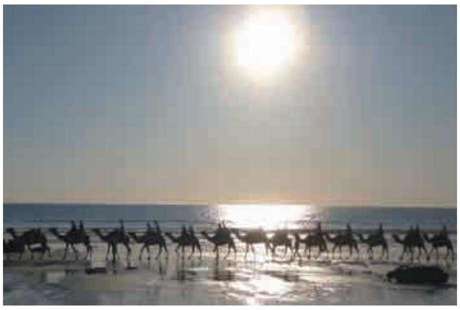
春の便り

小学校入学式

中学校入学式

クジラの歯みがき

第23回ツール・ド・熊野開催

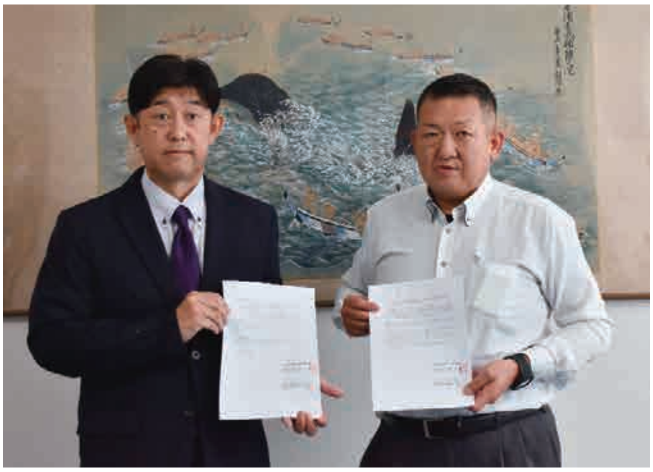


ブルーム姉妹都市交流

海上保安庁による事案対処

鯨と人の営み展

こども園　運動会



11/7(火) 防災調印式

太地町役場において、株式会社キナン新宮営業所様と本町との間で「災害時におけるレンタル機材の提供に関する協定」の締結をしました。
本協定で、災害発生時や発生のおそれがある際に重機や投光器、発電機、仮設トイレなど必要な資機材を借りることで、被害防止や早期復旧を図ります。

11/11(土) スポGOMI大会

向島海岸において、スポGOMI大会が開催されました。
「ゴミ拾いはスポーツだ」をスローガンに、老若男女問わず参加した36チーム約160人の参加者が、ごみ袋とトングを手に、集めたゴミの質と量を競いました。
制限時間が過ぎると、暖海公園にて表彰式が行われました。上位3チームには、景品が贈られました。

12/1(金) 交通安全街頭啓発

12月1日（金）～10日（日）の「わかやま冬の交通安全運動」期間に合わせて、本町では、小畑石油付近の交差点において、街頭啓発を行いました。
新宮警察署、交通安全協会、交通安全母の会、交通指導員の方々のご協力の下、ドライバーの方々に啓発物資を配布し、交通安全を呼びかけました。

令和5年度

石垣記念館公募絵画展

2024 3月9日[土]→17日[日]

作品募集
ふるってご応募ください。

「プレッツェル売り」
石垣栄太郎
1939年（昭和14）
栃木県立美術館蔵

テーマは自由・20号まで・1人1点まで

■応募締切日：令和6年3月5日（火）
■応 募 資 格：高校生以上
■応 募 方 法：作品は締切日までに石垣記念館にご持参ください。
■選 考 方 法：町長賞3点は審査員による選考、教育長賞は来場者投票による選考
■展 示 期 間：令和6年3月9日（土）から17日（日）まで
午前9時から午後4時半まで（最終日は午後3時まで）
初日の午前10時から審査員による講評
■問い合わせ：太地町教育委員会 0735-59-2335

お知らせ

太地町育英会奨学生の募集について

令和６年度の太地町育英会奨学生を募集します。

令和６年度奨学金の貸与を希望される方（経済的理由により、大学・短期大学・専門学校・高校での修学が困難で、太地町に在住し本籍を有する者）は、当会事務局の太地町教育委員会までお申込み，又はご相談ください。

奨学金は １ヶ月あたり	大学生	短期大学生及びこれに準ずる専門学生	高校生
	３万円以内	２万円以内	１万５千円以内

募集期間　令和6年1月12日（金）～令和6年2月29日（木）

第１回締切日：令和6年　1月31日（水）　　第２回締切日：令和6年　2月29日（木）

- 奨学金は貸与です。（無利子）
- 申込み用紙等は教育委員会（TEL ５９－２３３５）においています。
- 申し込み多数の場合は、審査によって決定し、文書にて3月上旬頃に合否の通知をします。

お知らせ

太地町持久走大会のお知らせ

令和６年2月の第14回「くじら浜駅伝大会」は開催を中止し、持久走大会を開催いたします。

日　　時：令和6年2月4日（日）　午前9時～午前11時

参加資格：小学校4年生から何歳でも

部　　門：◎一般男性（中高生を含む）◎一般女性（中高生を含む）◎小学生

申込書等の詳細は、ホームページ上にて掲載いたします。

なお、太地町役場1階ロビー又は太地町公民館にも申込書等を備え付けております。

【お問い合わせ】太地町教育委員会　電話　０７３５－５９－２３３５

お知らせ

新宮公証役場から休日相談のお知らせ

年末年始に、家族の間で、遺言や後見の話題も出るのではないでしょうか。公証役場では、これら公正証書の作成について、下記のとおり、休日相談を受け付けます。

相談は、事前予約とさせていただきますので、あらかじめ電話又はメールで予約をお願いします。

日　時　令和6年1月13日（土）　午前10時から午後3時まで

電　話　0735－21－2344

E-mail：nmt-3212@etude.ocn.ne.jp

新宮公証役場　公証人　三橋　豊

新宮市緑ケ丘2－1－31カマツカビル3F

お知らせ

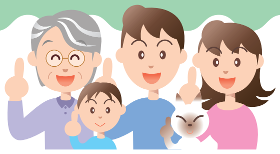
動物駆逐用煙火取扱講習について

シカやサル、イノシシ等による野生鳥獣を、追い払うための動物駆逐用煙火の取扱講習を開催いたします。また、取扱講習を受講された方につきましては、予算の範囲内において、動物駆逐用煙火と専用のホルダーを支給いたします。

日　　程　・令和６年１月27日（土）午後１時30分から（約２時間程度）

講習場所　・太地町公民館　大集会室

受講を希望される方については、令和６年１月18日までに産業建設課の窓口までお越しください。



住民福祉課だより

『住民福祉課だより』の
各種内容に関するお問合わせは、住民福祉課までお願いします。
☎０７３５－５９－２３３５（代）

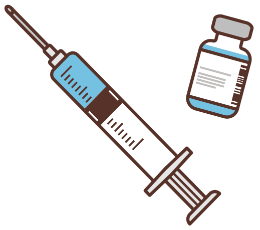
新型コロナワクチン接種の希望受付について

令和５年秋開始接種（オミクロン株ＸＢＢ.1.5 対応１価ワクチン）の希望受付について

令和５年９月 20 日以降に新型コロナワクチンを接種していない方で、12 歳以上の方の令和５年秋開始接種について、接種の希望を受付しています。
ご希望の方は、令和６年１月 12 日（金）までに、住民福祉課へお申し出ください。

令和５年秋開始接種の対象者

生後６か月以上のすべての方
※今回の希望受付は、12 歳以上の方が対象です



接種予定日

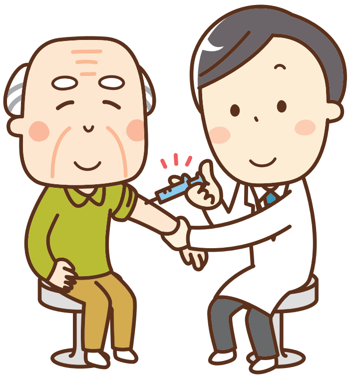
令和６年１月中旬以降

使用するワクチン

オミクロン株ＸＢＢ.1.5 対応１価ワクチン
※注意事項：他の予防接種を接種する場合は前後２週間あけてください（インフルエンザ除く）

その他

・太地町の問診票を使用して初回接種（1･2 回目接種）を終了した方全員に案内を送付しています。（65 歳以上の方は９月上旬に、12 歳～ 64 歳の方は 12 月中旬に案内を送付しています。）
・無料での接種は令和６年３月 31 日で終了します。



障害者差別解消法はご存じですか？

障がいを理由とする差別の解消の推進に関する法律（障害者差別解消法）が平成 28 年 4 月に施行されました。障がいのある人への差別をなくすことで、障がいのある人もない人も共に生きる社会（共生社会）をつくることを目指したものです。

この法律では、行政と会社・お店などの民間事業者を対象として**「不当な差別的取扱いの禁止」**と**「合理的配慮の提供」**を定めています。

令和３年５月には法が改正され、会社・お店などの民間事業者の合理的配慮の提供が義務化されました。

不当な差別的取扱いの禁止	合理的配慮の提供
正当な理由なしにサービスの提供を拒否したり、制限したり、条件を付けたりすること。	障がいのある人にとって障壁となる部分を取り除くために、負担になり過ぎない範囲で配慮すること。
（具体例） ●レストランに入ろうとしたら、車椅子の利用を理由に断られた。 ●アパートを借りようとしたら、障がいがあることを理由に断られた。	（具体例） ●車椅子を使用する人のために、スロープを設置したり、移動を支援する。 ●聴覚に障がいがある人のために、手話や筆談など音声以外の方法で伝える。

※正当な理由がある場合は、不当な差別的取扱いにはなりません。
※合理的配慮の提供には、お金や時間がかかり過ぎるなど実現が難しい場合もあります。その場合は、別の方法を考えることになります。

■私たちができること

障がいのある人に対する差別をなくし、誰もが暮らしやすい笑顔の多い共生社会を実現するためには、私たち町民の気づきと行動が欠かせません。

障がいといっても、さまざまな種類が存在し、困難さもそれぞれ違います。相手の立場になって、どのようなことで困っているかを考え、自分ができることを行っていきましょう。

（具体例）
●障がいのある人が困っていたら、声を掛けてサポートの方法を尋ね、本人がしてもらいたいお手伝いをするようにしましょう。
●ゆずりあい駐車場など、歩行が困難な人などのための駐車スペースには、必要のない人は駐車しないようにしましょう。
●障がいを理由に、人をからかったり、いじめたりしないなど。

おたふくかぜワクチン接種費用助成について

太地町ではおたふくかぜワクチン予防接種の助成を実施しています。
おたふくかぜワクチンは予防接種法に基づかない任意の予防接種です。
助成対象：接種日において1歳（1歳の誕生日を迎えた者）から3歳未満（3歳の誕生日の前々日まで）の者。

助成限度額：1人1回4,500円まで

必 要 書 類：①接種の金額がわかる領収書等
②接種記録がわかる母子健康手帳または接種済み証
③振込先の口座がわかるもの通帳等の写し

おたふくかぜワクチン（流行性耳下腺炎）とは

おたふくかぜは患者の咳やくしゃみによってムンプスウイルスが空気中に飛び出し、それを吸い込むことによって感染します。潜伏期間は2～3週間で、身体の中でムンプスウイルスが増えると2～3週間後に発病して耳下腺が腫れ、発熱を伴うこともあります。また、耳下腺だけでなく顎下腺や舌下腺が腫れることもあります。発病の数日前から耳下腺の腫れが消えるまでは人にうつす可能性があり、治癒証明書をもらうまで保育園・学校は登園・登校が禁止となります。合併症としておたふくかぜを発病した100人のうち1～3人が無菌性髄膜炎になります。男性では睾丸炎になり、将来子どもができなくなることもあります。また、最近では特に難聴合併への注意が促されています。

太地町
音楽療法＆手話
イベント

みんなで
音楽を楽しもう！

音楽あそび♪

声をだして
そして手話で
音楽を
奏でませんか。

『手話』ってなに？

ろう者（きこえない人）から
学んで
お話してみよう！

手話や聞こえない人のことを知ろう！
そして 音楽あそびで体を動かし楽しもう！

太地町には『太地町手話言語条例』が
制定されています。
そんな太地町の皆さんに「聞こえない人」や「手話」のことをお伝えします。
そして、音楽あそびで心も体も元気になりませんか。

太地町公民館　**1/31（水）**　**13:30-15:00**

主催：太地町

協力：東牟婁・新宮聴覚障害者協会　太地町社会福祉協議会　手話サークルイルカ

問い合わせ：社会福祉法人 美熊野福祉会　TEL/0735-31-3701・FAX/0735-31-3702

新年の挨拶

明けましておめでとうございます。

皆様には、穏やかな新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。
さて、昨年は長引いてきたコロナ禍も落ち着き、地域での日常生活やコミュニティーが戻ってきた年でもあったように思います。
また、野球界においての侍ジャパンの大活躍やロサンゼルス・エンジェルスの大谷翔平選手の大活躍が日本中に勇気と元気を与えてくれました。
本会においては、理事・評議員の皆さまや各団体・事業所の皆様にご支援ご協力をいただき、福祉教育・サロン・ネットワーク等の事業がコロナ禍の前のように実施でき、今まで以上に充実した年でもありました。
新たな事業では、町からの委託による買い物支援サービスや通院支援サービス（試行）を実施したところ、利用には制限があるものの多くの皆様に喜んでいただいています。
これから、ますます複雑多様化するニーズに対応していくため「共に、寄り添い・支え合い・助け合い」を合言葉に「安心して暮らせる町づくり」を目指していきますので、今年もご支援ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様方のご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

太地町社会福祉協議会
会長　岡本　研

福祉学習について

○令和５年11月17日　太地小学校６年生を対象に福祉学習を実施しました。

今回は、地域の方14人にご協力いただき、６年生と合わせて28人で避難について考えました。太地町役場の総務課から、町内に52ヶ所の避難路が津波を伴う地震が発生した際に、津波から避難するために整備されていることや、避難訓練の重要性について講話していただきました。
講話の後は、南海トラフ大地震が発生したと想定し、外国人・歩行困難・聴覚障害・視覚障害などの少し支援が必要と考えられる方たちとどのように避難をしたらよいかを考えました。生徒と地域の方２人一組になり、 東新集会所から近くの避難路を目指しました。その後のグループワークでは、災害時になぜ「避難」が必要なのか・少しの支援が必要な方が災害時以外の日常生活ではどんな不安があるか、その不安を安心に変えるために自分にできることについて考え意見交換を行いました。
６年生の子どもたちも地域の方々も、命を守るために「避難」が必要であるということ、また、支援が必要な方への関わり方について、有事の際は手助けをしたい、日頃からの繋がりを大切にして備えをしておく必要があるという意見が多く見られました。

◯ 11 月 24 日には太地小学校 4 年生を対象に福祉学習を実施しました。

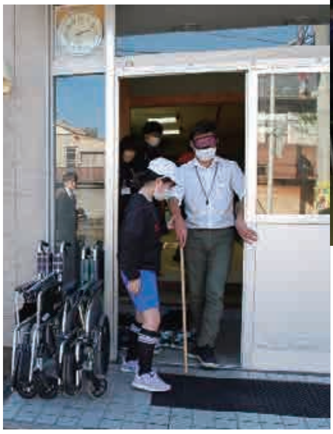
今年度の 4 年生の福祉学習は 3 回のコースで福祉学習に取り組みました。
6 月には視覚障害について、10 月には聴覚障害について、そして今回 3 回目では 11 月 24 日に身体の障害について学び、また学校のバリアフリーについて考えました。昨年度に引き続き、新宮市在住の車椅子を利用している松尾さんに参加していただきました。脊髄損傷について、普段の生活について、車椅子の操作などについて講義をしていただきました。

その後、グループで校庭や教室を車椅子で移動し、学校にはたくさんのバリアがあることを認識し、グループワークで解決方法や、自分たちにできることを考えました。

段差に困っている人が居たら、スロープの利用や、一人で難しいときは周りに声をかけて手助けをしたいという声が多く上がっていました。

障害は病気や人ではなく、その環境や、事情が障害になっていることを学びました。

11 月 17 日　6 年生実施の様子



11 月 24 日　4 年生実施の様子

手話サークル「イルカ」1・2月　活動日のお知らせ

1・2月の活動日について、下記の通りお知らせいたします。

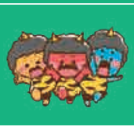
1月9日（火）	1月23日（火）
2月13日（火）	2月27日（火）

今月の手話
「こんばんは」

左右に広げた手のひらを
顔の前で交差させる。

ふれあいサロン「いっぷく亭」1月・2月の予定のお知らせ

1月・2月の「いっぷく亭」の予定について、下記の通りお知らせいたします。
ご近所の方お誘い合わせの上、お越しください。廃油の回収も行っておりますのでよろしくお願いします。

1月	31日 東新集会所	10日 寄水集会所	17日 森浦集会所	24日 平見集会所
2月 	28日 東新集会所	7日 寄水集会所	14日 森浦集会所	21日 平見集会所

いっぷく亭「寄水集会所」認知症予防教室　開催

12月6日（水）実施のいっぷく亭では太地町包括支援センターが主体となって「認知症予防教室」を開催していただきました。

認知症になりやすい条件や生活習慣について、わかりやすく説明をしてもらいました。また、認知症初期の方との接し方について寸劇を交えて教えていただき、楽しく学ぶことができました。

認知症以外のことでもなにか気になることや困ったことがございましたら、社会福祉協議会や太地町包括支援センターまでご相談ください。

いっぷく亭の開催時間や場所につきましては上記の予定表の通り開催しておりますので、気軽に立ち寄ってお話とお茶を楽しんでください。

買い物支援１月・２月のサービス実施日のお知らせ

１・２月の買い物支援サービスの予定について、下記の通りお知らせせいたします。
※２月の申込みについては、２月１日（木）より受付を開始いたします。

実施日	申込み締め切り
１月 17 日（水）	１月 12 日（金）
２月 21 日（水）	２月 16 日（金）

○買い物サービス　送迎バス時刻表　（マイクロバス・10 人乗り）

平見団地	西平見	平見公園前	石門	大東	東新集会所	漁協前
9：25	9：28	9：30	9：32	9：34	9：34	9：36
水ノ浦	公民館	暖海本通り	大長井	常渡	道の駅	太地駅
9：38	9：40	9：42	9：44	9：46	9：48	9：50

※送迎の時間は参加される方により前後する可能性がございますのでご承知おきください。

社協のエクササイズ教室　開催のお知らせ

☆今回のテーマ☆

「若返る筋トレ」

講師　竹本（たけもと）　翔太（しょうた）　氏

＜日　　時＞　１月 24 日（水）　19：00 〜 20：00（仕事終わりの方にもおすすめ！）
＜対　　象＞　太地町在住の要支援・要介護認定を受けていない方
※各種疾患により主治医から運動を制限されている方は参加できません。
＜場　　所＞　太地町多目的センター２階トレーニングルーム
＜持 ち 物＞　飲み物・上履きをご用意のうえ、動きやすい服装でお越しください。
＜締め切り＞　会場準備のため、１月 22 日（月）17：00 までにお申し込みください。

太地町社会福祉協議会

TEL　0735-59-3380/FAX　0735-59-4332/ 本会 HP

text by SAKURAI Hayato
Curator, Taiji Historical Archives
Advisory Curator, New Bedford Whaling Museum

ブルームの日本人墓地

減圧症と日本人墓地

Decompression Sickness

　昭和56年（1981）5月に西オーストラリア州ブルーム町と太地町が姉妹都市になった背景には、ブルームの真珠産業で大勢の太地出身者が働いていた歴史がある。1890年には、ブルームが世界の真珠産業の中心といわれるほどまでに同地の真珠産業は成長していた。浅海の真珠貝は採り尽くされていたので、水深30メートルを超えるような深い海に潜る必要があり、ドイツでデザインされた潜水ヘルメットや強靭な空気ホースなどの機器が使われるようになった。

　潜水夫が高水圧の海底から急に浮上すると、高圧力環境下で血液中に溶けていた窒素が減圧に伴って気泡となり、血管に詰まることがある。これが減圧症、いわゆる潜水病である。関節痛、頭痛、吐き気、めまい、全身の倦怠感などの症状があらわれ、それが急激に水中で発症すれば溺死につながり、船上に戻ることができても、脳や脊髄、呼吸器系、循環器系などが侵され、重度な障害が生じれば死に至った。

　オーストラリアでは1912年（大正元年）に英国海軍の基準を採用して事故を減らそうとしたが、ルールが現場で守られることは稀であった。1916年には、ヨーロッパ人が潜水作業に従事すべきではないという勧告がなされている。潜水夫はアジア人だけとなり、特に多かったのが太地町や串本町からやってきた日本人であった。

　オーストラリアでは、白豪主義のもとにアジアからの移民を制限する政策が採られていた一方で、ブルームの真珠産業は日本人に依存していた。危険を顧みず働き、ブルームに富をもたらす日本人に好感を持つ人は大勢いたに違いない。しかしブルームの日本人墓地に900名以上が葬られている事実は、当時のオーストラリア社会の厳しい現実を如実に物語っている。

　オーストラリアは1970年代に白豪主義と決別し、今や多文化共生を最も強力に推進する国となった。今年の4月には、ブルームのセント・メアリーズ校の生徒が5年ぶりに太地を訪ねることになっている。

文● 中江環（学芸員）

鯨歯を磨く

房州粉と磨き砂を混ぜた研磨剤

▲ 荒バフ（左）と仕上げのバフ（右）

「艶はアクセサリーの命や」これは大阪市生野区で父親の代から2代にわたって鯨歯加工業を営んでこられた職人さんの言葉です。

鯨歯加工の材料には主にマッコウクジラの歯が使われ、全盛期にはパイプ、印鑑、将棋の駒、麻雀パイ、靴ベラ、アクセサリーなど様々な生活用品や工芸品が生産されたといいます。冒頭で紹介した職人さんも、父親が戦後まもなく鯨歯パイプを手掛けたことが鯨歯加工に携わるきっかけとなったのだそうです。

鯨歯の加工作業は一般に、①電動のこぎりで歯をカットする、②彫刻機を使って鯨歯に彫刻を施す、③②で加工したものを磨くという工程で行われます。さらにアクセサリーとして加工する場合には、③にドリルを使って穴を開け、金具を取りつけて仕上げるのですが、職人さんによると、この「磨く」という作業が鯨歯アクセサリーを作る上で重要であるというのです。残念ながら、職人さんの工場は数年前に廃業が決まり、現在はその生産工程の全てを見ることはかないません。しかし、今回筆者は鯨歯加工における要ともいえる「磨き」の工程について、職人さんからお話を聞くことができました。本稿では、その概要をご紹介できればと思います。

磨きはまず、「エズリ」と呼ばれる紙やすりが巻かれた回転ベルトで磨く作業から始まります。エズリは研磨によって出る粉塵を外へ排気しながら行うため、装置もかなり大掛かりなものになるのだそうです。また、鯨歯素材の整形にも使用できるほど削る力が強いため、この作業は常に危険を伴い、うっかりすると指を切断してしまうこともあったといいます。

▲「仕上げのバフ」で磨くことで、製品に艶を出す

次に「バフ」と呼ばれる円盤状の研磨道具に研磨剤を塗布し、これを高速回転させながら製品表面に押し当てて磨いていきます。バフの素材や研磨剤の種類を変えることで、研磨の度合いを柔軟に変えられるのが特徴で、職人さんは「荒バフ」と「仕上げのバフ」の2種類を使い分けていました。まずは荒バフで彫刻やエズリの工程でできた傷を削り、きれいにしていきます。この時に使用する研磨剤が、千葉県でしか採取されないという天然の砂「房州粉」と関西地方の山で採取されるという灰色の「磨き砂」を混ぜて水でよく練ったもの。研磨剤を取り扱う会社に聞くと、房州粉は粒が細かくて潰れにくいので、表面の細かい傷などをとるのに向いており、磨き砂は粒が荒くて潰れやすいので、大きな溝のような傷をとるのに向いているのだとか。職人さんはこうした特性を熟知し、艶を出そうとする時は房州粉を、荒く磨く時は磨き砂を主体にという要領で、2種の砂の配合を調整することで磨きの仕上げを決めるのだそうですが、その割合は長年の勘によるといいます。最後は仕上げのバフに「ロウ」と呼ばれる固形ワックスを塗布し、艶上げの作業を行います。これが基本的な磨きの工程となりますが、製品の大きさや状態、目指す仕上げの度合いなどによってこれ以外にも様々な磨きの手法が取り入れられるようです。

職人さんが長年愛用されてきたバフは共に仕事をしてきた弟さんの手作りだそうで、作業がしやすいように配置や構造が工夫されています。今回、筆者に使い方を伝えるために実演してくださったのですが、「ほら、全然艶が違うやろ？」と艶やかに仕上がった製品をみせてくださった時の誇らしげな表情がとても印象的でした。実はこの度、大変ありがたいことに２台のバフを含む鯨歯加工に使用する道具類を当館へ寄贈していただけることになりました。職人さんの鯨歯に対する誇りや情熱と共に貴重な資料として後世へと受け継いでいきたいと考えています。

現在、当館1階大ホールにて、企画展「鯨と人の営み展」第二期が開催中です。様々なクジラヒゲ加工品を紹介した第1期に続き、今回は鯨歯、骨、革、郷土玩具などに焦点をあてた展示となっています。今回ご紹介した職人さんたちの手による「磨き」の技術を目の当たりにできる貴重な機会ですので、ぜひとも足をお運びいただければと思います。

《保健衛生関係１月行事予定》

健康相談

月　　日	事　業　名	時　　間	場　　所
１月 24 日（水）	成人健康相談（血圧測定）	10：30 ～ 11：10	公　民　館
		13：00 ～ 13：30	平見集会所
		13：45 ～ 14：15	老人憩の家
		14：30 ～ 15：00	寄水集会所
１月 29 日（月）	成人健康相談（血圧測定）	14：30 ～ 15：00	森浦集会所
１月 31 日（水）	乳幼児健康相談	10：00 ～ 11：30	ふれあいルーム

※成人健康相談（血圧測定）で、検尿を希望の方は、ご自宅で採尿し、ご持参ください。

健康教育

月　　日	事　業　名	時　　間	場　　所
１月 15 日（月） 29 日（月）	なかよし体操	13：30 ～ 14：30	東新集会所
１月 22 日（月） 29 日（月）		13：30 ～ 14：30	森浦集会所
１月 10 日（水） 17 日（水） 24 日（水） 31 日（水） ※ ３日はお休み	あおぞら体操	9：30 ～ 9：45	暖海ゲートボール場
		10：00 ～ 10：15	森浦寺前（地蔵院前）
		10：30 ～ 10：45	平見消防屯所前
１月 11 日（木） 18 日（木） 25 日（木） ※ ４日はお休み	あおぞら体操	9：30 ～ 9：45	多目的センター駐車場
		10：00 ～ 10：15	東の浜ふれあい広場
		10：30 ～ 10：45	平見公園

健診

月　　日	事　業　名	時　　間	場　　所
１月 11 日（木）	１歳６か月児健診	13：00 ～ 13：10（受付）	多目的センター
	３歳６か月児健診	13：00 ～ 13：10（受付）	
１月 25 日（木）	４か月児健診	9：30 ～ 9：40（受付）	那智勝浦町福祉健康センター
	10 か月児健診	10：20 ～ 10：30（受付）	

※感染症予防のため、受付時間を変更させていただく場合があります。

白馬からのお便り
姉妹都市「白馬村」コーナー

白馬村観光大使就任式 &トークショー

11月3日(金曜日)ウイング21で、白馬村観光大使就任式を行いました。

第1部では上村愛子さんを観光大使に任命し、第2部では本年4月に観光大使に任命された国本梨紗さんにも加わっていただき、白馬村に対する想い、観光大使としての意気込みや活動に関することをテーマにトークショーを開催しました。お2人には白馬村の歴史や文化、自然、特産等の魅力的な観光資源を国内そして世界に発信していただきます。今後のご活躍と白馬村のPR活動にご期待ください。

住民基本台帳
（令和５年 11 月末日現在）
総人口 2,838 人
男 1,278 人
女 1,560 人
世帯数 1,535 世帯
（前月比：総人口 10 人減
世帯数 3 世帯減）

令和６年消防出初式の開催中止について

令和６年消防出初式は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催を中止させていただきます。

太地町総務課　消防係

編集と発行　太地町役場　総務課　和歌山県東牟婁郡太地町大字太地３７６７－１　令和６年１月１日発行